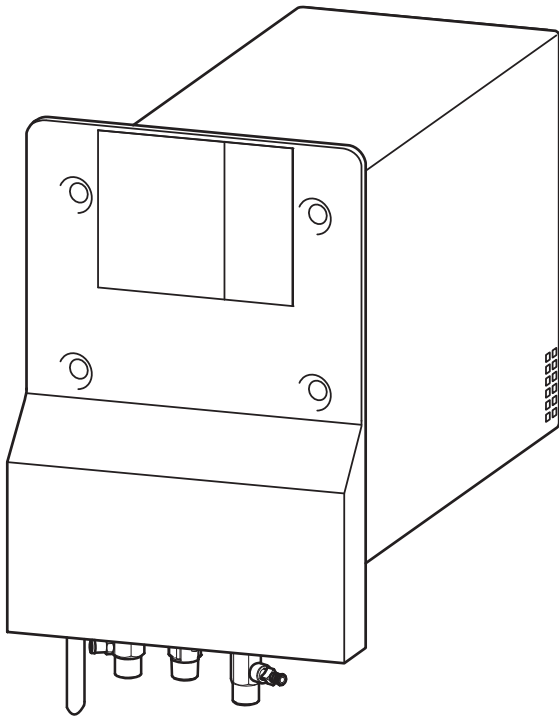


ガス給湯器（外壁貫通設置型）

シリーズ名	製品名
WFK-S1602 シリーズ	WFK-S1602 WFK-S1602-C WFK-S1602-BL WFK-S1602-C-BL



機器本体編

お客様サポートのご案内



ハウステックお客様サポート 🔍

お客様サポートの詳細内容は、
本書「アフターサービスについて」を
ご確認ください

保証書付


- このたびは、ハウステック製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

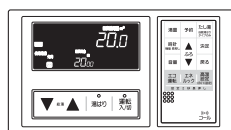


も く じ

はじめに	特 長	1
	安全上のご注意	2
	各部の名まえとはたらき	10
使用方法	初めてお使いいただくときは	12
	※ リモコンの使いかたについては、別冊のリモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、あわせてお読みください。	
このようなときは	凍結のおそれがあるとき(凍結予防方法) . . .	13
	長期間お湯を使用しないとき	15
	冬期の入浴について	15
必要なときに	点検・お手入れ	16
	あんしん点検について	18
故障かな？	修理を依頼される前に	19
	エラーコード表示がでたら	21
その他	寸 法 図	22
	仕 様	23
	アフターサービスについて	24
	保 証 書	巻末

はじめに 特 長

- 1 浴そうに浴室の給湯栓からお湯はりするとき、あらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を設定して  を押すと、そのお湯の量になったとき、リモコンからメロディと音声でお知らせします。
- 2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。
リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 32,35,37 ~ 50,60℃に設定できます。
- 3 エネルックモードが使えます。
 - ・ ガスやお湯（水道）の目安使用量、目安使用料金やCO₂の目安排出量が確認できます。
 - ・ ガスやお湯（水道）の目安使用量やCO₂の目安排出量の過去7日間の比較や、先月や前年同月との比較ができます。



- 4 エコ運転モードで省エネ、節水がはかれます。

主な記号の説明




記号	内 容	記 載 例
	操作の順序を表します。	①
	参照していただきたいページを表します。	20
■	本製品が操作などにより、表示・動作する内容を表します。	■「運転ランプ」が点灯します。
●	操作をともなう、知っておいていただきたいことを表します。	●一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆通常は、節電モードをおすすめします。

はじめに 安全上のご注意

- 安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
- ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文および製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。

表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意 味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

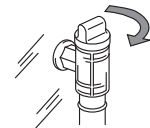
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		感電注意		高温注意
	一般的な禁止事項		分解禁止		火気禁止
	接触禁止		ぬれた手の接触禁止		
	必ず行う事項		電源プラグを抜く		

⚠ 危険

ガス漏れに気づいたときは

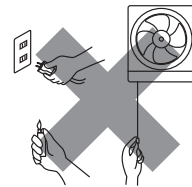
- ① すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ② 窓や戸を開ける。
 - ③ お買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者へ連絡する。
- お買い求め先（販売店）やガス事業者の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、機器の漏電ブレーカーや電源プラグの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺の電話を使用しないでください。
 - 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



[ガス元栓の例]



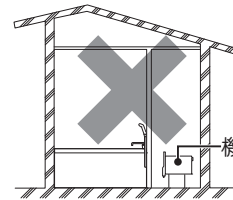
必ず行う



火気禁止

屋内に設置しない

- この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。絶対に屋内に設置しないでください。
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。



機器本体

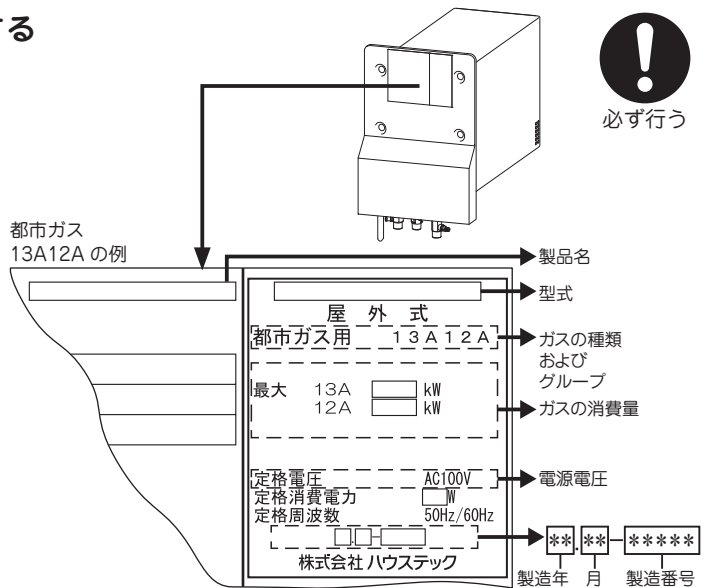


禁止

⚠ 警告

使用ガスの種類および使用電源の確認をする

- 機器の銘板に表示してあるガス種および電源を確かめてください。表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常点火によるやけど、機器が故障する原因となります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類が機器銘板のガスの種類と一致していることを必ず確かめてください。
- 分からない場合は、お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。



必ず行う

機器の設置・移動および付帯工事はお買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者に依頼する

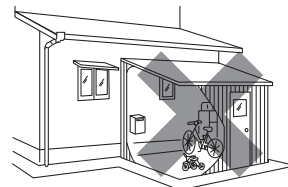
- 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。
- 安全な位置に正しく設置してご使用ください。



必ず行う

増改築などで機器や排気口を囲わない 波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで 囲わない

- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

はじめに 安全上のご注意

警告

ガス接続工事はお買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者に依頼する

- この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。



必ず行う

太陽熱温水器には絶対に接続しない

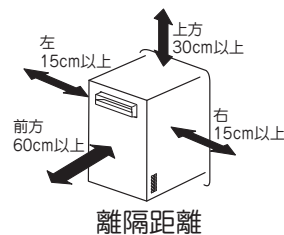
- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



禁止

燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）

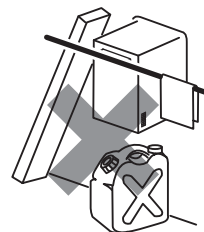
- 右図の離隔距離を確保する。
- 木造住宅など可燃壁に取り付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10mm以上の離隔距離を確保してください。火災の原因になります。
- 排気アダプタ設置時は工事説明書記載の離隔距離を確認してください。



必ず行う

機器の周囲に燃えやすいものを置かない （洗濯物、新聞紙、灯油など）

- 引火して火災の原因になります。



禁止

機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない

- 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止

機器や排気口の周囲で引火のおそれのある物（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない

- 引火して火災の原因になります。



禁止

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆うことがあります。そのような場合には使用しない

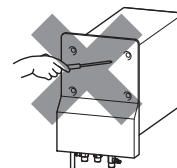
- 不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。



禁止

分解・修理・改造をしない

- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

使用中の外出、就寝はしない

- 思わぬ事故の原因になります。



禁止

警告

機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない

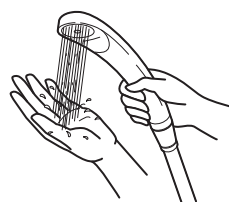
- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

シャワーなどお湯を使用するときはリモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してからご使用ください。(特に60℃で使用したあと)
- 機器の故障等により、使い始めは正常でも、使用中に熱くなる場合もあるので、その場合はすぐに使用を中止し、お買い求め先(販売店)または当社窓口に連絡してください。
- 夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出てやけどのおそれがありますので、湯量を増やしたり水を混ぜたりして湯温を確認して使用してください。



必ず行う



高温注意

入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する

- お湯はり中やお湯はり後、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。



必ず行う



高温注意

浴そうのふたの上に乗ったり、手をついたりしない

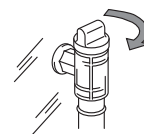
- ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。



禁止

点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める

- 「修理を依頼される前に」[19](#)、[20](#)にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求め先(販売店)に連絡する。



[ガス元栓の例]



必ず行う

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

- ① 給湯栓を閉める。
- ② 運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス元栓、給水元栓を閉める。



[ガス元栓の例]



[給水元栓の例]



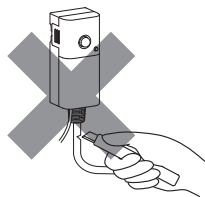
必ず行う

はじめに 安全上のご注意

警告

電源コードを破損させたり、加工したりしない
傷んだまま、束ねたままで使用しない
電源コードに物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない

- 感電やショート、火災の原因になります。



禁止

機器の漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む

- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

機器の漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取り

- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず行う

ぬれた手で機器の漏電ブレーカーにさわらない

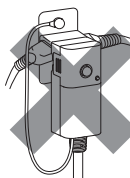
- 感電のおそれがあります。



ぬれた手の接触禁止

コンセントの定格を超える使い方をしない

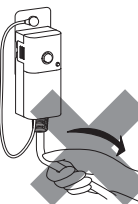
- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁止

電源コードを引っばって機器の漏電ブレーカーを抜かない

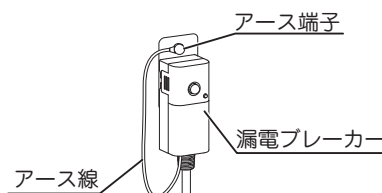
- 電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



禁止

必ずアースする

- アース線をアース端子に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



必ず行う

外付け装置による遠隔操作厳禁

- スマートフォン、IT 機器を使ってリモコンのスイッチを操作する外付け装置※は、安全性を確認できないため使用しないでください。

※ スイッチ付近に設置し、インターネット通信等を介して、スイッチを操作できる装置



禁止

注意

給湯時は混合水栓のハンドル以外に手を触れない

- やけどのおそれがあります。



給湯、シャワー、ふろのお湯はり以外の用途には使用しない

- 思わぬ故障や事故の原因となります。



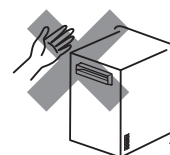
機器の漏電ブレーカーを抜いて消火しない

- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。
機器の故障のおそれがあります。



使用中、使用直後は排気口や本体ケーシングに触れない

- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口や本体ケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
特に、小さなお子様が居る家庭では、注意してください。



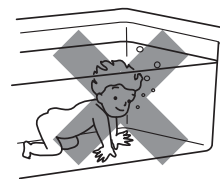
給気口や排気口に指や棒を入れない

- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
けがや故障の原因となります。



子供を浴室内や浴そう内で遊ばせない

- 浴そうに落ちて、思わぬ事故につながる場合があります。
- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない また、子供を機器の周囲や直下で遊ばせない

- 思わぬ事故の原因となります。



ドレン排出口・オーバーフロー配管から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない



機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する

- もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。



はじめに 安全上のご注意

お願い

業務用の用途で使わない

- この機器は一般家庭用です。業務用には使わないでください。著しく機器の寿命が縮まります。

燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する（増改築なども同様）

- 変色・破損・腐食の原因となります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流が停滞しないように考慮する

- 塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流が停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間については、お買い求め先（販売店）または当社窓口へお問い合わせください）

騒音によるトラブルが生じないように設置場所に十分配慮して設置する

使用時の点火、使用後の消火を確認する

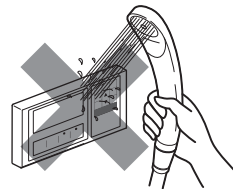
- 機器使用時の点火（リモコンの表示部に  が点灯）、使用後の消火（リモコンの表示部の  が消灯）を確認してください。

この機器の付属品・純正部品以外は使わない

- 機器の異常の原因になることがあります。

リモコン清掃時に水をかけない

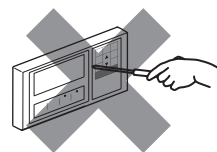
- 浴室リモコンは防水タイプ（台所リモコンは防水ではありません）になっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水や洗剤をかけないでください。故障の原因となります。お掃除については「点検・お手入れ」[\[16\]](#) にしたがって行ってください。



禁止

リモコンを分解しない

- 思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使わない

- 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。

お願い

井戸水、地下水、温泉水を使用しない。また、人工炭酸泉装置を使用しない

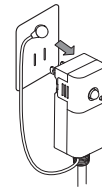
- 水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。また、人工炭酸泉装置は、高濃度の炭酸ガスを湯に溶かしこむため弱酸性となります。そのため機器内の配管等が変色・腐食する場合があります。これらの場合は保証期間内でも修理は有料となります。

断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める

- 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまる場合があります。
- 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用せず、十分水を流してからご使用ください。

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して機器の漏電ブレーカーをコンセントから抜く

- 故障の原因になります。雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。



凍結による破損の予防処置を実施する

- 機器内部の凍結予防は、「凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）」[13](#)、[14](#) にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

積雪で排気口がふさがれているときは使用しない

- 異常点火や不完全燃焼の原因になります。

停電のときのご注意

- この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中はすべての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、別冊のリモコン操作編の取扱説明書の「使用方法」にしたがって操作してください。
- 停電復帰後は、設定していた温度などが工場出荷時の設定になる場合があります。

運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない

- 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。（シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください）
- ※ 水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

運転中（機器燃焼時）のご注意

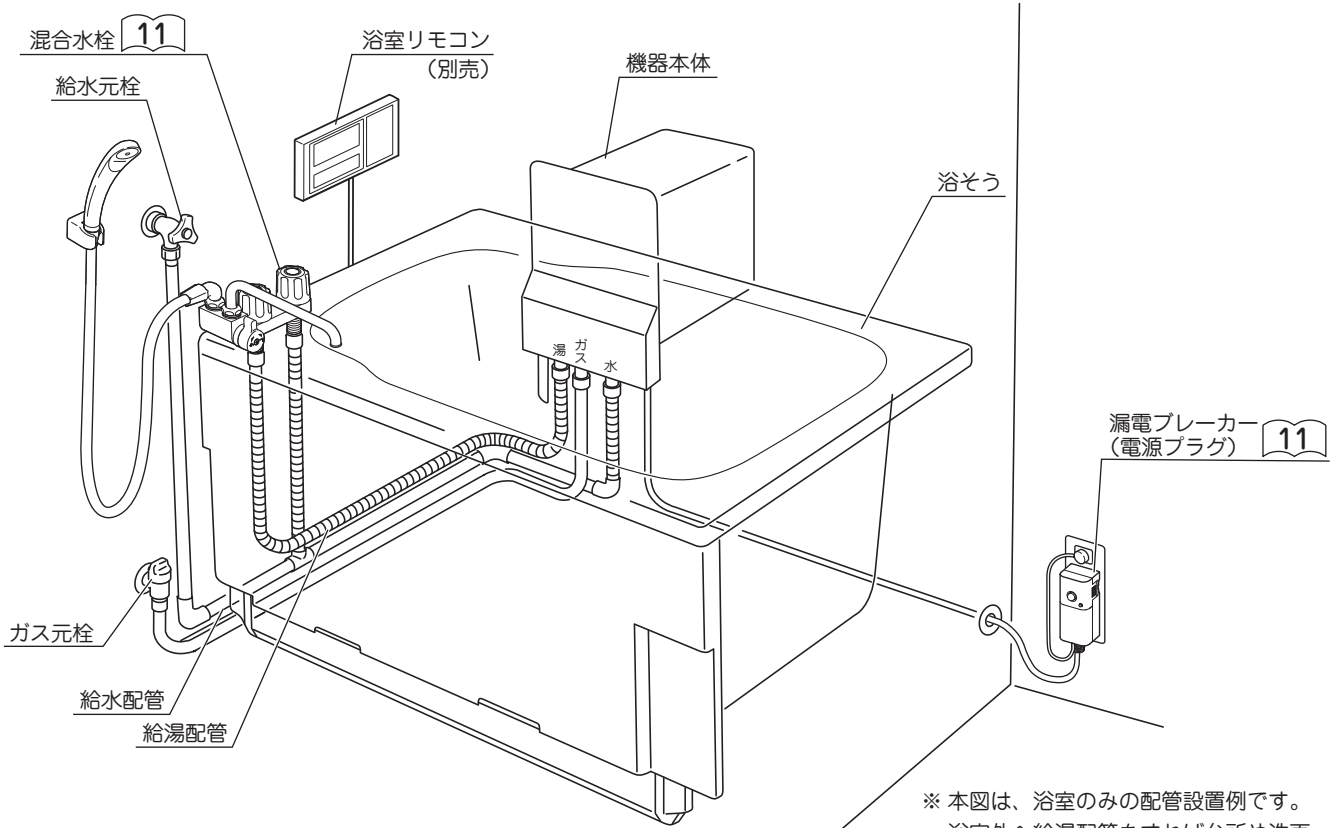
- 機器を使用中は、排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため「長期間お湯を使用しないとき」[15](#) にしたがって処置をしてください。

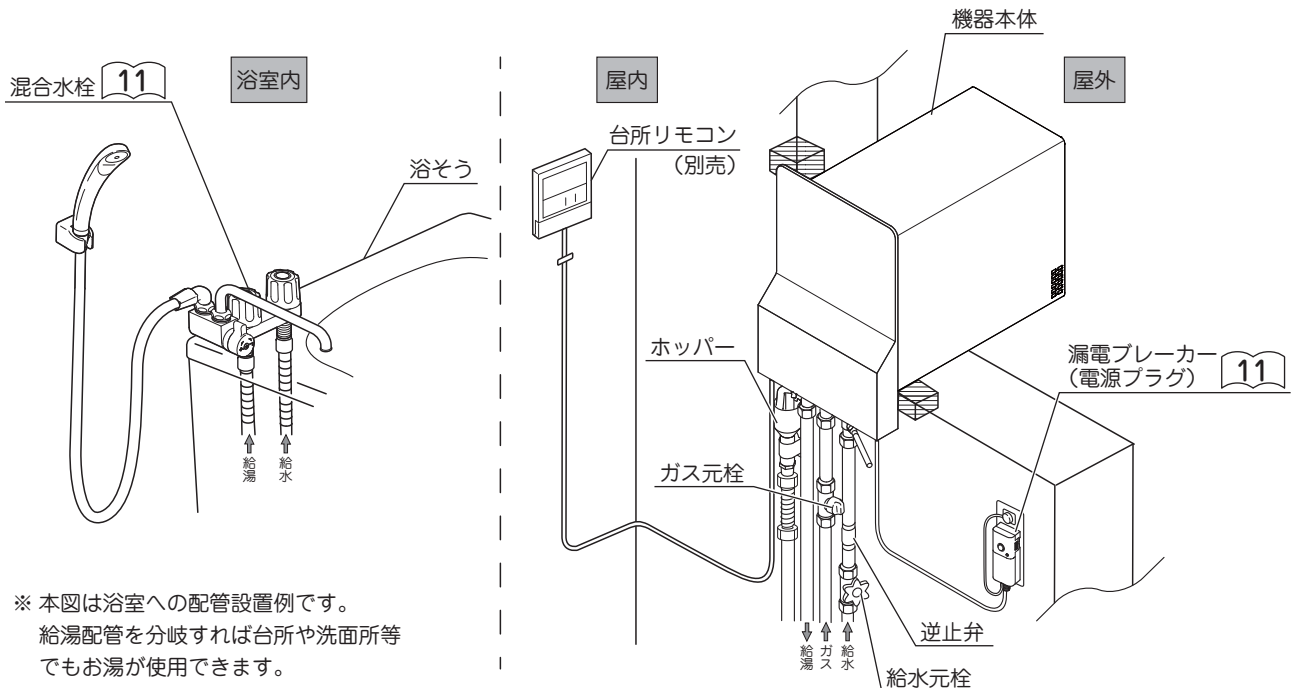
はじめに 各部の名まえとはたらき

○ 浴室内標準設置例



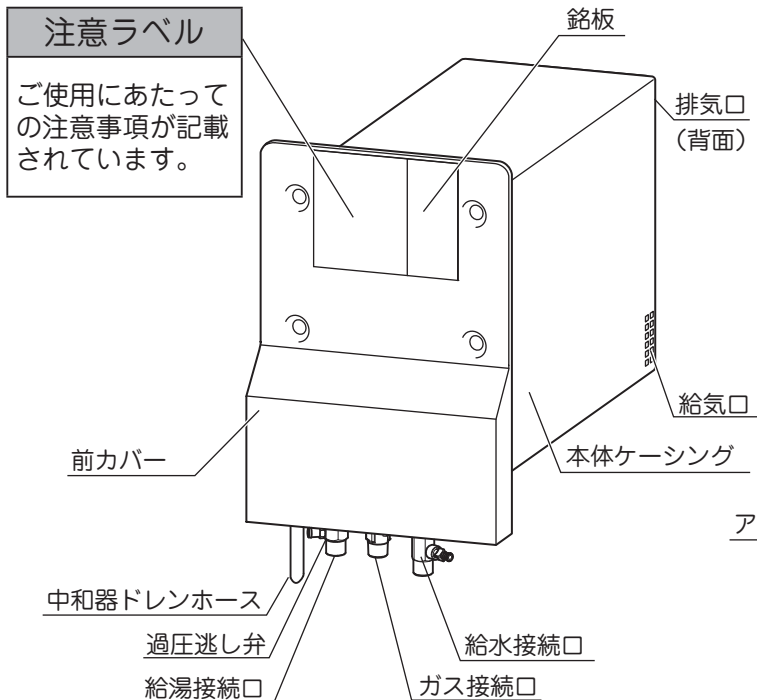
※ 本図は、浴室のみの配管設置例です。
 浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。
 別売の台所リモコンもあります。

○ 浴室外標準設置例

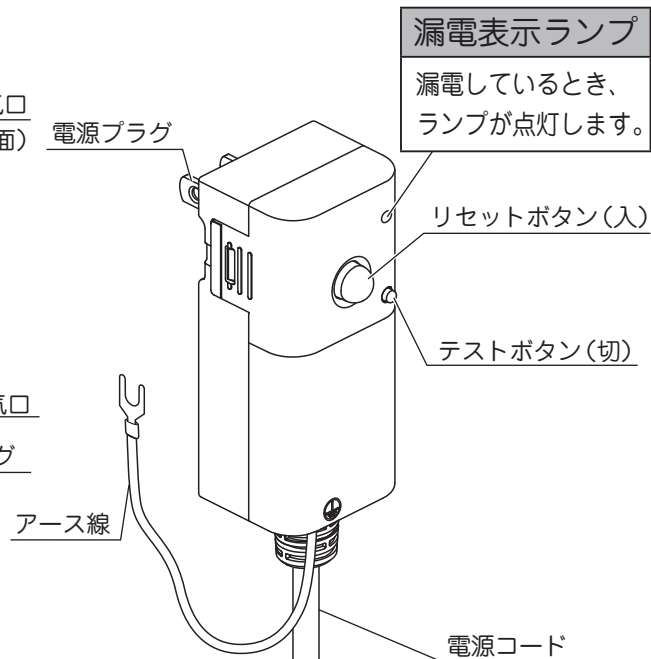


※ 本図は浴室への配管設置例です。
 給湯配管を分岐すれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。
 別売の浴室リモコンもあります。

○ 本体



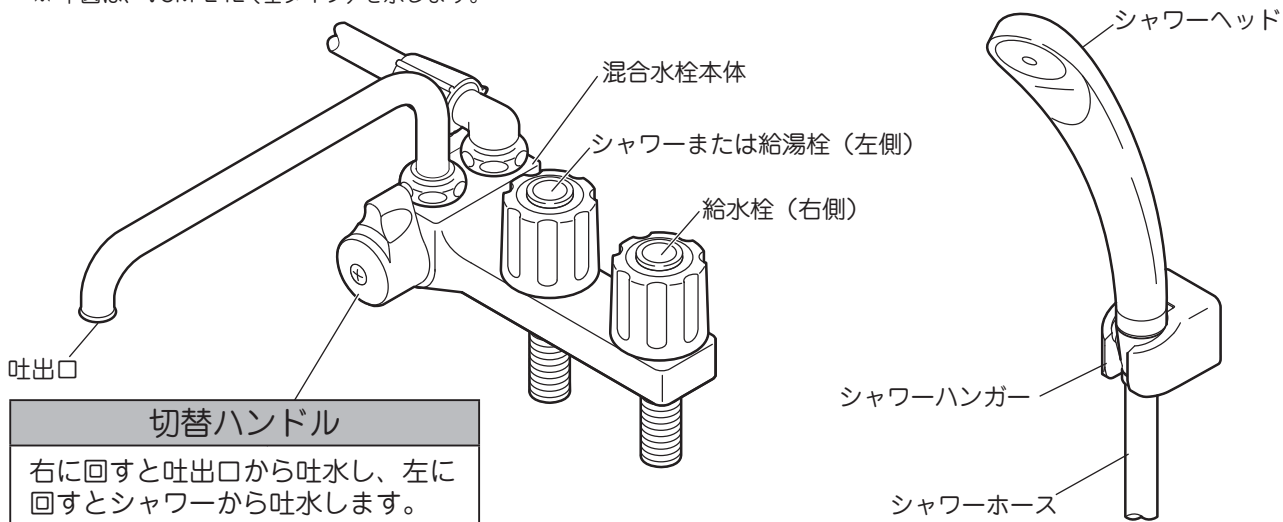
○ 漏電ブレーカー



○ 専用混合水栓

● 混合水栓 (別売部品 VSM-24 R/L)

※ 本図は、VSM-24L (左タイプ) を示します。



※ 取り扱いおよび取り付けについては、混合水栓に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。
※ 混合水栓の故障修理については、お買い求め先 (販売店) または当社窓口にご相談ください。

お知らせ

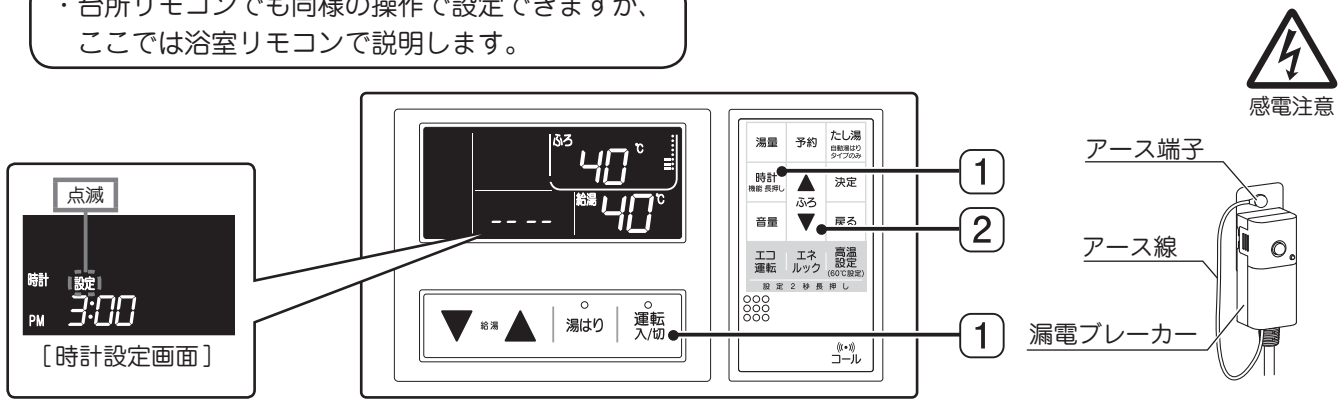
- ◆ 専用混合水栓でなく一時止水機能を持つ混合水栓使用時に給湯・シャワーを使い終わった後は、切替ハンドル (一時止水) だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めてください。
一時止水がきかなくなるおそれがあります。
- ◆ 切替ハンドルは左右完全に回した状態で使用してください。
途中で止めて使用すると開度が変わる場合があります。

使用方法 初めてお使いいただくときは

使用前の準備と確認

○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

・台所リモコンでも同様の操作で設定できますが、ここでは浴室リモコンで説明します。



1. 給水元栓をいっばいに開ける。
2. すべての給水栓、給湯栓を開けて水が出ることを確認後、給水栓、給湯栓を閉める。
3. アース線をアース端子に取り付ける。
4. 機器の漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。
5. ガス元栓を全開にする。
6. リモコンの時計を合わせる。

① **運転入/切** を押して「入」にし、**時計** を押す。

■時計設定画面になり、**設定** が点滅します。

② **ふろ** で時刻を合わせる。

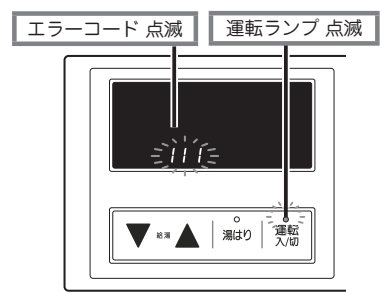
- **▲** を押すと1分進み、**▼** を押すと1分戻ります。長押しすると10分単位で変わります。
- 時刻を合わせ、そのままの状態です約10秒後に確定されます。
- **時計**、**決定** を押しても確定されます。

●必ず時刻を合わせてください。現在時刻の設定がされていないと、「湯はりコール運転の予約」機能は動作しません。

お知らせ ●停電復帰後、長期不在などで機器の漏電ブレーカーを抜いたあとは、時計表示が **----** となり、設定していた温度などが工場出荷時の設定になる場合があります。

エラーコード 111 が表示したら

- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに時計表示部にエラーコード **111** が点滅し不着火をお知らせします。
- このような場合は、いったんシャワーまたは給湯栓を閉じ、**運転入/切** を押してエラーを解除し、再度 **運転入/切** を押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。



このようなときは 凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。

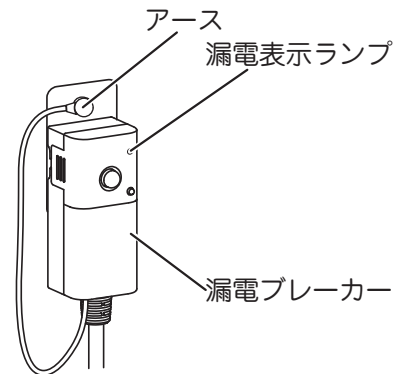
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

機器の漏電ブレーカーを抜かない

- ◆ 抜けていると凍結予防ヒーターが作動しません。
- ◆ 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。 17



お知らせ

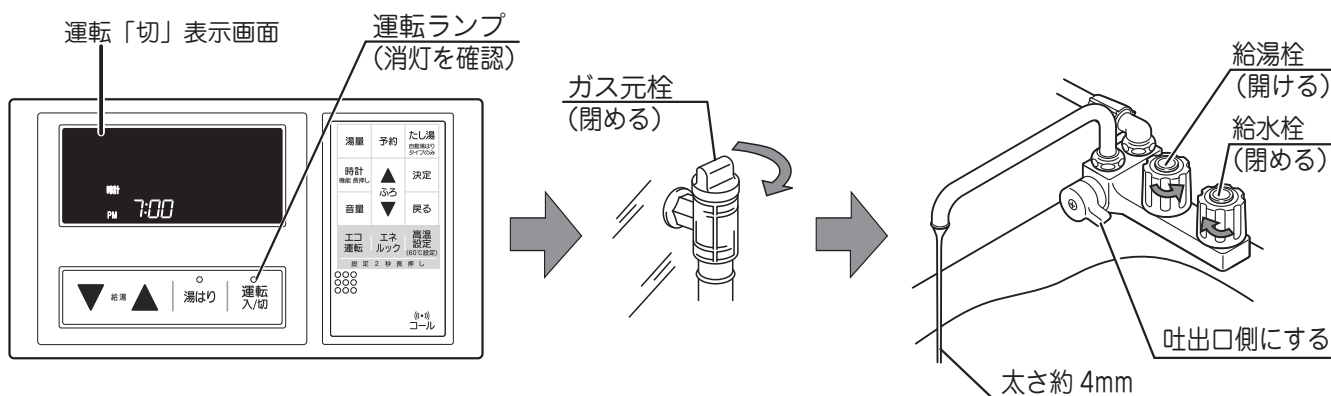
- ◆ この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、機器の漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
- ◆ 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
- ◆ ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時-15℃まで、有風(4m/秒)時-10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。 13 ~ 15
- ◆ ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。

2. 冷え込みの厳しいとき※の予防方法


※外気温が-15℃以下や-15℃より高くても風があるとき

通水による方法

- ① リモコンが運転「切」(運転ランプ消灯)になっていることを確認する。
 - ② ガス元栓を閉める。
 - ③ 浴室の給湯栓を開けて、少量の水を浴そうに流したままにする。
- ◆ 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



このようなときは 凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き  [長期間お湯を使用しないとき] を行ってください。

お知らせ

- ◆ 凍結により、給湯の吐出口・シャワーの吐出口から水が出ないときは、使用しないでください。
- ◆ 凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- ◆ 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯栓を閉め、解凍するのを待ちます。
解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- ◆ 凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。
保証期間内でも有料修理になります。
- ◆ 万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

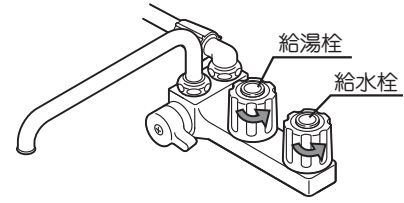
このようときは 長期間お湯を使用しないとき

○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1 ガス元栓を閉じる。

2 給水元栓を閉じる。

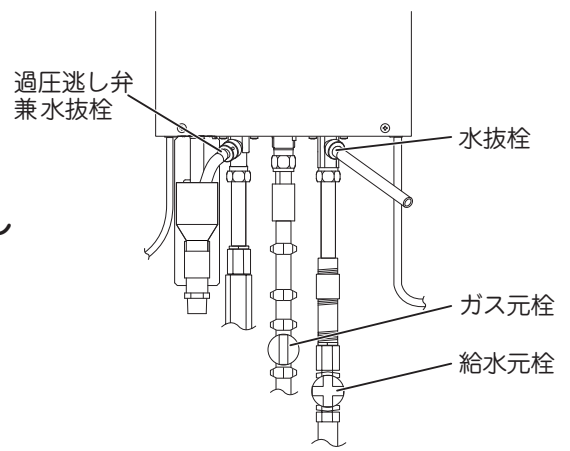
3 給水栓、給湯栓を開ける。



4 過圧逃し弁兼水抜栓、給水継手水抜栓をゆるめて水を抜く。

※ 浴室外設置の場合、水抜栓から出る水は洗面器などでうけてください。

例) 浴室外設置の場合



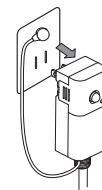
5 給水、給湯配管に水抜栓がある場合、水抜栓を外し配管内の水が抜く。

6 配管内の水が抜けたら水抜き栓を元通りにし、すべての給水栓、給湯栓を閉じる。

7 浴そうの水を排水する。

8 機器の漏電ブレーカーをコンセントから抜く。

※ 給水および給湯配管に水抜栓がない場合は漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。



● 再使用については「初めてお使いいただくときは」12 にしたがってください。

このようときは 冬期の入浴について

○冬期など浴室・脱衣所と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響（ヒートショック）によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣所を暖めるなどしてください。浴室を暖めるには、シャワーでお湯を流したり、浴そうにふたをしないでお湯はりする方法もあります。

必要なときに 点検・お手入れ

⚠ 注意

お手入れの前には、ガス元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う

- 機器使用中および使用終了直後は、排気口や機器本体が高温になっていますので、やけどのおそれがあります。



機器やリモコンは、絶対に分解しない

- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。



点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。 4
- 給気口・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。 3 4
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのにおいはいませんか。 3 ガス漏れに気づいたとき
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。 5
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 機器の漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。 17 漏電ブレーカーの点検

チェック!



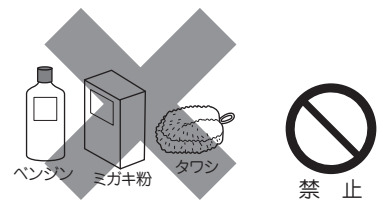
お願い

- 機器外観やリモコンのお掃除をされるときは、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきし、洗剤が残らないようにしてください。

※ 点検、お手入れの際は、必ず手袋をして行ってください。



- ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれのおそれがあります。
- リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。また洗剤が付着した場合は洗剤が残らないようにふきとってください。リモコンケースの割れやリモコンの故障の原因になります。
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



○機器の漏電ブレーカーの点検

◆漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行ってください。

① テストボタンを押す。(電源「切」) → 漏電表示ランプが点灯します。

② リセットボタンを押す。(電源「入」) → 漏電表示ランプが消灯します。

◆月に1回以上の作動確認を行ってください。

※ 正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、
お買い求め先(販売店)または当社窓口へご連絡ください。

※ 点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを
押してください。

再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、
お買い求め先(販売店)または当社窓口へご連絡ください。

※ 作動確認後は設定していた温度、現在時刻、エコ運転 ON・OFF、ロック機能
などが工場出荷時の設定になる場合がありますので、あらかじめ設定を
確認してください。

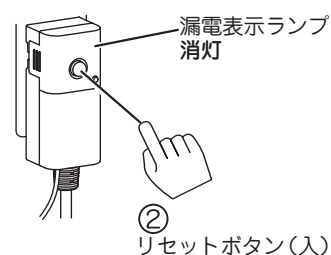
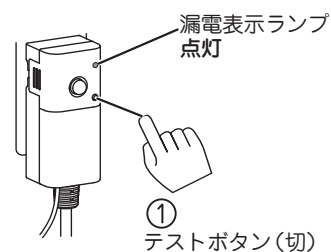
・給湯温度 40℃ ・湯はり温度 40℃ ・湯はり湯量 140L

・現在時刻 - : - - ・湯はりコール予約時刻 PM 7 : 00

・エコ運転 給湯 OFF、ふろ OFF ・ロック機能 OFF



必ず行う



必要なときに **あんしん点検**について

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」(有料) のおすすめ

本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

「あんしん点検」について

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客様の任意で受けていただく有料の点検です。
(法定点検ではありません)
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- ・点検の実施は、当社または当社サービス会社の点検担当員が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
(例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- ・点検終了後、現時点での診断結果を総合判定としてご説明いたします。
点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換など)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客様にご了解をいただいた上で行います。

【点検料金について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。点検料金は、出張料、技術料などを合計した金額となります。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.housetec.co.jp/support/inspection/>

【点検を依頼される時】

- ・「あんしん点検」(有料・任意点検)については下記までお問い合わせください。







ハウステック点検相談窓口

0120-965-163 (携帯・PHS 対応)

受付時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土・日・祝祭日、年末年始・夏季休暇日を除く)

次のことをお調べください

現象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ・機器の漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。  ・停電していませんか。 ・ロック機能が設定されていませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス元栓が全開になっていますか。 ・給水元栓が全開になっていますか。 ・断水ではありませんか。 ・リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ・凍結していませんか。 、 
あついお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ・ガス元栓が全開になっていますか。 ・給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ・水量を絞りすぎていませんか。(夏季) ・給水元栓が全開になっていますか。
設定した温度、時刻などが記憶されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・停電が起きていませんか。 ※停電が発生した場合、設定していた温度、時刻等が初期値になる場合があります。 
水栓から出るお湯の量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ運転を設定していませんか。 ・2ヶ所以上の水栓でお湯を使用していませんか。
設定した湯はり湯量どおりに湯はりしない	<ul style="list-style-type: none"> ・湯はり湯量の設定は適切ですか。 ・残り湯(水)がありませんか。その分だけ浴そうの湯量が増えます。 ・湯はりコール運転中に台所など他の給湯栓でお湯を使用していませんか。湯はりコール運転終了時の浴そうの湯量が少なくなります。 ・湯はりコール運転が完了しないうちに湯はりスイッチを何度も「切」「入」しましたか。 ・浴そうに人が入っているときに湯はりスイッチを「入」にすると、お湯があふれることがあります。
給湯栓を開けると運転スイッチが「切」になる	<ul style="list-style-type: none"> ・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。 、 

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。 エラー発報後電源「切」「入」した後に給湯栓を開くと、機器の調整のため1~2分程度燃焼運転しない場合がありますが異常ではありません。 しばらく水を出し続けてください。
運転スイッチが切れる。	給湯またはシャワーを連続1時間以上使用しますと、消し忘れ防止のため運転を「切」にし、燃焼を停止します。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後約5分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
給湯栓を絞りすぎて水(熱い湯)になった。	給湯栓を絞りすぎる(約2L/分以下)と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
あついお湯が出ない。	冬期など給水温度が低いときに60℃設定しますと、設定温度どおりのお湯が出ない場合があります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期水温が30℃近くなりますと、給湯設定温度を低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
給湯量に変化する。	給水温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。 夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなります。異常ではありません。
中和器ドレンホース近くの床が白くなる。	この機器は高効率のため、給湯使用中にドレン水が出ます。ドレン水に中和剤成分のカルシウムが溶けだし、床が白くなる場合がありますが、機器の異常ではありません。
運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモーターが動く音(クックッ、クー)がする。	お湯を使用するときに、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で、異常ではありません。



故障かな？ エラーコード表示がでたら

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処 置
111 121	給湯不着火 給湯使用时、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、運転スイッチを「切」にし、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理を依頼してください。
140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。機器が使用できなくなりますので、修理を依頼してください。
141	出湯温異常	供給ガス圧の低下や、熱交換器の詰まり等の故障が考えられます。このエラーが表示された場合は約5分間お湯を使用することができません。たびたびエラー表示が出るときは、修理を依頼してください。
291	中和器・ドレン経路づまり	たびたびエラー表示が出るとお湯を使用できなくなりますので、修理依頼してください。 なお、冬季は凍結により291を表示する場合がありますので、解けるのを待つか、修理を依頼してください。
101 991	ファンほこりづまり	十分な給湯能力が出ない、または給湯・湯はりを使用できない状態ですので、修理を依頼してください。
921 931	中和器交換警告	中和器の交換時期が近づくと921を表示し、しばらくすると931となり機器が使用できなくなります。中和器の交換が必要ですので、修理を依頼してください。



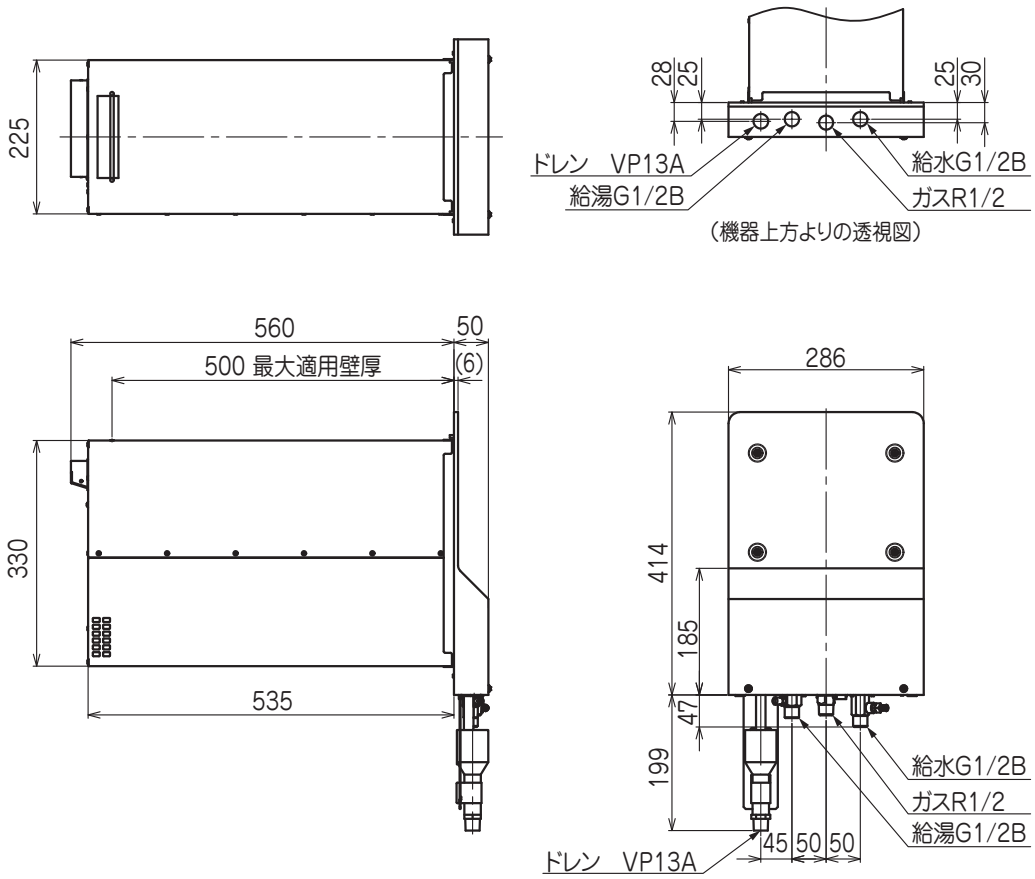
エラーコードが点滅しているときは

- ◆ この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時刻表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください）
- エラーコードの点滅解除は、 を押して「切」にします。
- ◆ 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（310, 311, 331, 610, 700, 710, 721 など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらなくて、お買い求め先（販売店）または、もよりの当社窓口へご連絡ください。
- ◆ 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、機器の漏電ブレーカーの作動が考えられますので、 の要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

寸法図

○本体

単位：mm



その他 仕様

○WFK-S1602,WFK-S1602-C 仕様表

項目		仕様			
外形寸法(本体)		幅 286 × 高さ 461 × 奥行 610mm			
		幅 286 × 高さ 461 × 奥行 550mm ※1			
壁貫通部寸法		幅 225 × 高さ 330 × 奥行 560mm			
		幅 225 × 高さ 333 × 奥行 500mm ※1			
質量(本体)		20 kg			
		20 kg ※1			
接続寸法	ガス	R1/2 (LPGのみ TU 接続可)			
	給水・給湯	G1/2B			
標準ガス	ガス質	13A	12A	LPG	
消費量 kW	給湯	最大	30.0 (25,800kcal/h)	27.8 (23,900kcal/h)	30.0 (2.16kg/h)
		最小	4.4 (3,800kcal/h)	4.3 (3,700kcal/h)	4.4 (0.32kg/h)
電気定格	電源	AC100V (50 / 60Hz)			
	消費電力	40 W			
	凍結予防ヒーター	96 W			
最低作動水圧		19.6 kPa (0.2kgf/cm ²)			
使用水圧		53.9 (動水圧) ~ 784kPa (0.55 ~ 8kgf/cm ²)			
制御システム	給湯	フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御			
	ファン制御	DC ファンによる回転数制御			
排気温度		260℃以下			
安全装置		<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置 ・沸騰防止装置 ・残火安全装置 ・過熱防止装置 ・漏電ブレーカー ・凍結予防用ヒーター ・ファン回転検知 ・過圧逃し弁 			

※1はWFK-S1602-Cの寸法、質量です。

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

○出湯能力

*印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数 (号)		温度上昇と標準出湯量 (リットル/分)				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A, LPG	能力大	16	* 26.7	16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.2	3.7	2.2	—	—	—
12A	能力大	15	* 25.0	15.0	12.5	9.4	7.5
	能力小	2.1	3.5	2.1	—	—	—

・上記数値は計算値です。

アフターサービスのお申し込み

アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に

「修理を依頼される前に」**19**、**20**を見て、もう一度ご確認ください。

それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

○ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 製品名・・・機器本体の銘板を確認ください。
2. 購入日
3. 故障、異常の現象・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

○混合水栓のアフターサービスについては、買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

転居される場合

○転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類や設置条件を確認の上、買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

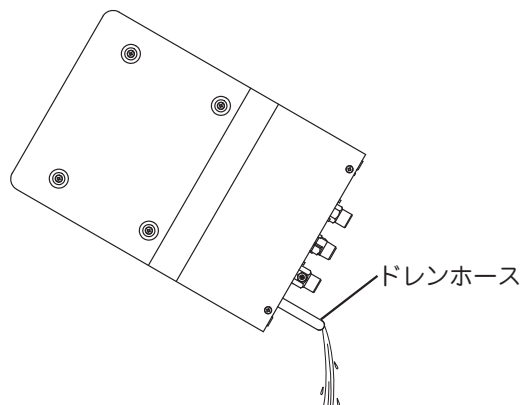
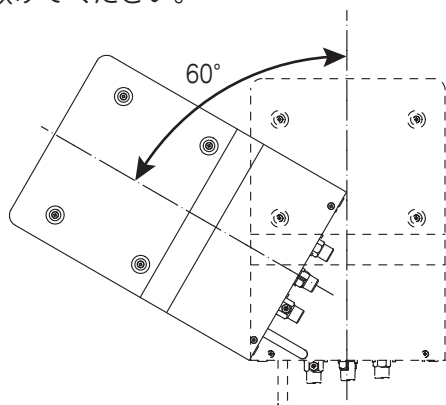
（ガスの種類や設置条件によっては設置できない場合があります）

○機器本体を梱包・輸送する場合は、買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者へ機器本体内部の中和器の水抜きを依頼してください。

[中和器の水抜き方法]

① 機器本体を正面に対し左側へ 60°以上傾けてください。

② ドレンホースから水を排出します。



保証・補修について

- 保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
お買い求め先（販売店）または当社窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後10年間です。

BL 認定品について

- BL 認定品には、機器にBL マークを表示しています。
BL 認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
ベターリビングお客様相談窓口の電話番号は「03-5211-0680」です。



(BL マーク)

定期点検のおすすめ（有料）

- 機器をより安全にお使いいただくために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。また、機器の取替え目安年数は10年となります。
- 点検はお買い求め先（販売店）または当社窓口にご相談ください。

●お客様サポートのご案内 当社への各種お問い合わせに関しては、下記の二次元コードからアクセスすると便利です。

■ハウステック商品のお問い合わせ

主なお問い合わせ内容

- 商品の性能や使用方法、お手入れについてのご質問
- ショールームや営業所のご案内
- 商品のトラブル・不具合についての対応

■住宅設備機器長期保証制度のお申込み

- 追加の保証料をお支払いいただくことにより、メーカー保証期間を最長6年もしくは10年に延長する制度です。

■修理のご依頼

- ハウステックの修理のご依頼は24時間・365日受付。
- 浴室・トイレ、調理機器や給湯器などの修理の受付は、年中無休24時間うけたまわっております。

■アフターパーツ・オプション品のご用命

- 今お使いの機器の消耗品や、ワンランク上のグレードにする便利な部品を注文することができます。

<https://www.housetec.co.jp/support/>



ハウステックお客様サポート Q

お電話でのお問い合わせは下記にてうけたまわっております。電話混雑時には繋がりにくいため、上記web画面(お客様サポート)からのご利用をおすすめいたします。

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

個人のお客様

0120-801-761

※携帯電話の場合 **0570-001-761** (有料)

販売・施工など業者様

0570-071-761 (有料)

- 受付時間 平日 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

0120-102-471

※携帯電話の場合 **0570-002-471** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-471 (有料)

- 受付時間 365日 24時間
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

個人のお客様

0120-455-621

※携帯電話の場合 **0570-002-621** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-350 (有料)

- 受付時間 平日 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

※補修部品の交換は専門知識が必要のため、ご購入可能な補修部品は、専門知識を要せず、工具を使わない部品のみを対象としています。修理のご依頼は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書

製品名	保証期間 [お買い上げ日から]
WFK-S1602-BL, WFK-S1602-C-BL	2年間 (熱交換器: 3年)
WFK-S1602, WFK-S1602-C	1年間

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態が故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内であっても、工事説明書の設置する浴室の条件に合致しない浴槽（目地打ちやコーキング処理されている浴槽など）を移動、再設置する際の費用を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、「お客様サポートのご案内」に記載の当社窓口にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じる故障および損傷。
 - 工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
 - 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - 適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - 電気、ガス、給水の供給事情および給水・給湯配管の錆など異物混入による故障および損傷。
 - 指定規格以外のガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で使用された場合。
 - 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - 海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性のガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
 - 温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷。
 - ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
 - 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - 熱量変更に伴う改造・調整の場合。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お客様	お名前	TEL
	ご住所 〒	
	お買い上げ日	年 月 日
販売店	店名	TEL
	住所 〒	

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきますので、ご了承ください。

※当社指定の専用水栓をご使用の場合は、該当するガス給湯器の保証期間を適用します。

年月日	修理記録（修理内容）	サービス員 (印)

株式会社ハウステック

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1-1

www.housetec.co.jp